

平成31年度防衛基盤整備協会賞応募申込書

企業団体 (企業)	団体名 (企業名)		代表者
	所在地	〒 (電話)	

業績題目	
------	--

応募者 (個人又はグループ)			
氏名 <small>ふりがな</small>			
	年 月 日生	年 月 日生	年 月 日生
勤務先			
同上 所在地	〒	〒	〒
同上 電話			
略 歴			
現在の 役 職			
<p>本件に関連して当協会から照会する場合の応募者の連絡先</p> <p>勤務先 電話 FAX メールアドレス</p> <p>役 職 <small>ふりがな</small> ご氏名</p>			
<p>協会賞の贈呈式の細部について当協会から連絡する場合の団体 (企業) の連絡先</p> <p>勤務先 電話 FAX メールアドレス</p> <p>役 職 <small>ふりがな</small> ご氏名</p>			

推薦工業会	
業績及び応募理由の概要	<p>(1) 自主的な技術（装備品等に適用した企業固有の技術でソフトウェアを含む。）の概要</p> <p>(2) 自主的な技術の開発履歴と装備品等への適用の時期</p> <p>(3) それを適用した成果</p> <p>(8) 量産契約等年月日</p> <p>記載要領に示した（1）～（9）のうち（1）、（2）、（3）及び（8）は必ず記述をお願い致します。別添の記述例をご参照ください。</p> <p>必要に応じ別紙（用紙適宜）に記載願います。</p>
業績の分野	<p>1. 機能・性能の向上</p> <p>2. 保守、整備並びに運用等に関する効率化、省力化</p> <p>3. 使用目的に適合するとの評価が得られ又は目的とする成果が得られ採用</p> <p>4. 品質の向上、価格低減又は工期短縮</p> <p>（業務内容の該当する箇所を○印で囲んで下さい。複数回答可）</p>
特許の状況	
備考	

平成31年度防衛基盤整備協会賞応募申込書

企業団体 (企業)	団体名 (企業名)	〇〇工業株式会社	代表者 特機事業本 部長 防衛 太郎 Ⓜ
	所在地	〒162-XXXX 東京都新宿区・・・ (電話 03-XXX-XXXX)	

業績題目	△△装備への〇〇技術による□□改善
------	-------------------

応募者 (個人又はグループ)			
氏名	きばん じろう 基盤 次郎	せいび さぶろう 整備 三郎	
	昭和50年7月7日生	昭和40年3月3日生	
勤務先	特機事業本部 〇〇工場	生産本部 生産技術開発センター	
同上 所在地	〒4XX-XXXX 〇〇県・・・	〒4XX-XXXX 〇〇県・・・	
同上 電話	04XX-XX-XXXX	04XX-XX-XXXX	
略歴 平成13年〇〇工業(株) 入社(又は当社入社) 平成元年〇〇工業(株) 入社(又は当社入社)	
現在の 役職	〇〇課 主査	〇〇部〇〇〇〇課長	

本件に関連して当協会から照会する場合の応募者の連絡先			
勤務先	〇〇工業(株) 特機事業本部 〇〇工場	電話	04XX-XX-XXXX
		FAX	04XX-XX-XXXX
		メールアドレス	ichro.koueki@...
役職	製造課長	ご氏名	公益 一郎
協会賞の贈呈式の細部について当協会から連絡する場合の団体(企業)の連絡先			
勤務先	〇〇工業(株) 特機事業本部 営業部	電話	03-XXXX-XXXX
		FAX	03-XXXX-XXXX
		メールアドレス	jiro.zaidan@...
役職	〇〇部長	ご氏名	財団 二郎

推薦工業会	一般社団法人 日本防衛装備工業会
業績及び応募理由の概要	<p>(1) 自主的な技術（装備品等に適用した企業固有の技術でソフトウェアを含む。）の概要 ……（必須です）</p> <p>(2) 自主的な技術の開発履歴と装備品等への適用の時期……（必須です）</p> <p>(3) それを適用した成果……（必須です）</p> <p>(8) 量産契約等年月日……（必須です）</p> <p>記載要領に示した（1）～（9）のうち（1）、（2）、（3）及び（8）は必ず記述をお願い致します。別添の記述例をご参照ください。 必要に応じ別紙（用紙適宜）に記載願います。</p>
業績の分野	<p>1. 機能・性能の向上</p> <p>② 保守、整備並びに運用等に関する効率化、省力化</p> <p>3. 使用目的に適合するとの評価が得られ又は目的とする成果が得られ採用</p> <p>④ 品質の向上、価格低減又は工期短縮</p> <p>↑ （業務内容の該当する箇所を○印で囲んで下さい。複数回答可）</p>
特許の状況	<p>発明名称「○○・・・」</p> <p>公開中</p> <p>特開 20XX-XXXXXX</p>
備考	

業績及び応募理由の概要（記載必須項目）の記述例

1. 自主的な技術（装備品等に適用した企業固有の技術でソフトウェアを含む。）の概要

〈記述例〉

「弊社の☆☆技術をベースとした◇◇製品を利用し、・・・」或は
 「弊社の☆☆技術を応用し、・・・」
 何々を「開発した。」或は「実現した。」
 等具体的な技術名とその結果を記述してください。

2. 自主的な技術の開発履歴と装備品等への適用の時期

〈記述例〉

暦年ごとの経緯の記述或は表形式で時期的な記述をしてください。

平成 AA 年頃 弊社の〇〇技術として確立
 平成 BB 年 防衛省に◇装備に適用することを提案
 平成 CC 年 ◇装備の試作品（あるいはその一部）として完成し評価
 及び修正
 平成 DD 年 ◇装備品（あるいはその一部）として採用

表形式で記述する場合の一例

項目 / 年	13	14	15	16	17	18	19
〇〇の自社開発研究				▶			
防衛省提案～評価試験				————▶			
契約締結						○	
量産化						○	

3. それを適用した成果

〈記述例〉

「〇〇技術をベースにした研究開発により◆◇装備品の具体化、量産化にめどをつけた。特に★★、◇◆の実現に大きく寄与した。」
 或は、
 「☆☆の改善、〇〇の低減により高性能化と共に価格低減を実現した。」
 等その成果を記述してください。